

# 富津市地域公共交通計画 (案)

令和 5 年 月

富津市



# はじめに

富津市では、「公共交通を必要とする人のためのものであること」、「公共交通というバトンを次世代につなぐため、持続可能性を確保するものであること」の2つを基本的な考え方として、平成30年3月に富津市地域公共交通網形成計画を策定し、これまでタクシー運賃助成事業や交通空白地対策など新たな施策を実施してきたほか、富津浅間山バスストップの開設による都心とのアクセス向上など、既存公共交通の維持確保と利便性の向上に努めてきました。

このような中、令和2年2月頃から日本国内で広がり始めた新型コロナウイルス感染拡大により、公共交通機関の利用者が激減しました。人々の生活様式が一変し、これまでの既存公共交通サービスを維持出来なくなることが懸念されます。さらに、環境問題への対応や地域社会の発展と国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs※）」への取組みも求められています。

こうした社会情勢の変化や法の趣旨等に対応し、令和5年度から5年間で実施する事業を明らかにした「富津市地域公共交通計画」を策定します。

本計画は、市民、交通事業者、行政だけでなく、商業・観光施設、医療機関等の多様な主体と連携し、公共交通を必要とする人のための地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保を目指します。

## ※SDGsとの関係性

SDGsは、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際社会の共通目標であり、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、2030年を年限とする17の目標（ゴール）と169のターゲットから構成される。

公共交通の分野においても、目標11の中で「2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。」と掲げられている。

本市においても、SDGs達成に貢献できるよう、本計画を策定し、推進します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 【 目 次 】

	頁
<b>1 計画の概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 計画の目的 .....	1
(2) 計画の位置付け .....	1
(3) 計画区域 .....	1
(4) 計画年次 .....	2
<b>2 公共交通の現状</b> .....	<b>3</b>
(1) 地域特性 .....	3
(2) 市の主な関連計画での公共交通の位置付け .....	4
(3) 公共交通機関等の状況 .....	5
(4) 交通事業者等ヒアリング調査 .....	9
<b>3 市民の移動実態やニーズ把握調査</b> .....	<b>10</b>
(1) 各種アンケート・聴き取り調査概要 .....	10
(2) 各種調査結果 .....	11
①市民アンケート調査 .....	11
②路線バス利用者聴き取り調査 .....	16
③高速バス利用者聴き取り調査（富津浅間山B S、国道富津浅間山） .....	18
④タクシー運賃助成事業登録者アンケート .....	19
(3) 市民の移動実態に関する小学校区別の整理 .....	21
<b>4 網形成計画で定めた指標等の評価</b> .....	<b>69</b>
(1) 実施事業と評価指標の目標達成状況 .....	69
(2) 目標達成状況の評価（アンケート等で目標が定められていた指標を対象に） .....	70
<b>5 公共交通に関する調査に基づく課題</b> .....	<b>74</b>
<b>6 地域公共交通計画に関する基本的な方針</b> .....	<b>77</b>
(1) 公共交通に関する基本的な方針 .....	77
(2) 公共交通ネットワークのあり方 .....	79
<b>7 計画の目標及び実施事業</b> .....	<b>83</b>
(1) 目標及び実施事業 .....	83
(2) 実施体制 .....	84
(3) 実施事業の概要 .....	85
<b>8 計画の達成状況の評価</b> .....	<b>98</b>
(1) 目標の達成状況や社会情勢の変化に伴う計画の見直し .....	98
(2) 評価の方法及びスケジュール .....	99
<b>参考資料</b> .....	<b>100</b>

